

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園		施設番号	41-0015
項目	評価結果に基づく現状分析 (平成22年度)	改善計画 (平成22年度末時点)	実施状況 (平成23年10月1日時点)	
年度計画で改修等を積み重ね、目指す安全で快適環境の目的達成について	<p>開設から、十数年の月日を経て老朽化対策や排水設備等を改善し快適な環境を目指してこれまでも年度計画で改修工事をすすめている。平成21年度から3年計画で進めている居室棟のエアコン設備の全面改修、22年度にも棟内廊下の塗装や多室の壁張替え、作業棟外階段に転落防止柵設置などの改善に取り組んできた。今後は、風呂場の改修や、トイレの臭気対策として排水設備の改修工事、避難経路の拡張工事等を検討しており、安全で快適な環境作りに向けて、長期、中期、短期と分け、目的達成に向けた取組が必要と思われる。</p>	<p>平成22年度に計画していた、お風呂場の改修や、トイレの臭気対策、避難経路の拡張工事が未実施となってしまった。快適な環境づくりの為に、専門家の意見を聞きながら平成23年度には実施を目指す。 年度計画だけではなく、長期、中期の計画作成の為、今後検討を進めていくため、理事会に委員会の設置を平成23年度中に設ける。</p>		
事故分析、作業環境・手順の見直し等、さらなるリスクマネジメントの推進について	<p>リスクマネジメント実施規程を策定し、月1回リスクマネジメント委員会を実施している。誤業対策では、マニュアルを再検討し、担当者の見直し等の実施により、成果が出ているが、「転倒等他の事故も含めて、事故を責めず、提出を評価する等、出しやすい環境を作り、事故分析、日頃から改善できる作業環境の見直しや事故が起きないようにするための手順の見直しなどさらなるリスクマネジメントの推進を期待」と講評されているとおりである。</p>	<p>事故報告は勿論のこと、ヒヤリハットを多く職員から出してもらうことにより、大きな事故を未然に防げると思われる事から、講評されたように、出しやすい環境づくり及び提出の評価を今後検討していく。また、事故については、さらに分析を行い、同じ事故が起きないように対策を検討し、マニュアル化するなど、リスクマネジメント委員会などで検討する。</p>		
日本一事業経営の透明度が高い社会福祉法人となるべく、理事会傍聴制度の復活をについて	<p>ホームページには、事業計画・報告・就業規則などの諸規程も含め、第三者評価結果、外部経営診断結果・苦情処理結果など施設における情報のほとんどを掲載している。インターネットを利用できない方に向けても、年2回機関紙「やまゆり通信」を送っており、家族をはじめ、地元町内会・行政など関係者向けに約500枚配布している。また、行事の様子、会議等の資料などほとんどのものは翌日夕方には、ホームページに掲載され、楽しみにしている家族も多い。日本一事業経営の透明度が高い社会福祉法人目指して、理事会傍聴制度の復活も、再度検討が必要と思われる。</p>	<p>ホームページ等を利用し、経営の透明性を高めてきたが、講評があった通り、理事会の職員の傍聴については現在中止しているが、職員からの要望もあり、平成23年度の事業計画にも掲げ、傍聴については、理事会で検討していく。</p>		

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価（又は利用者に対する調査）の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。